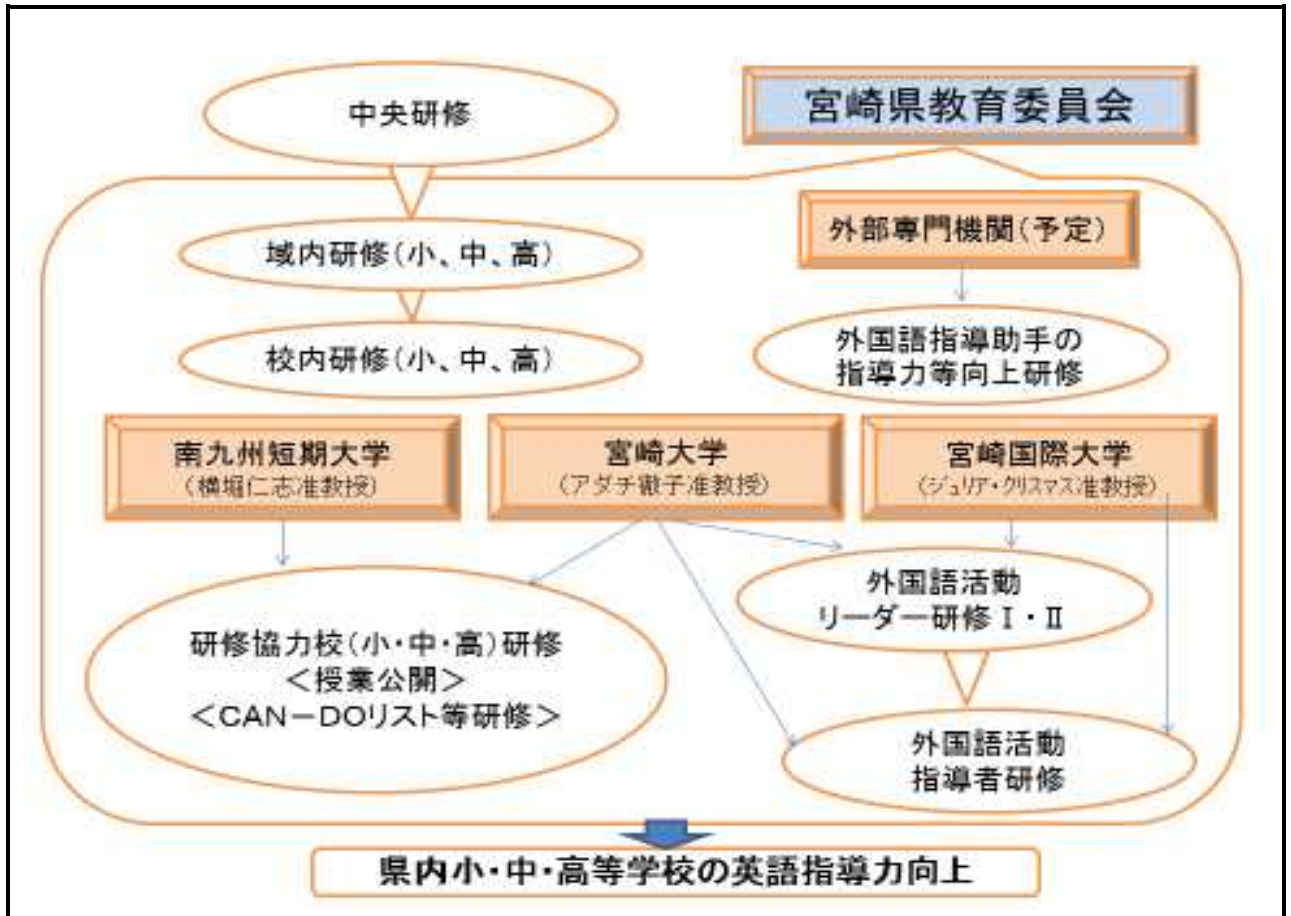


宮崎県英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

○英語教育の状況を踏まえた目標管理

① 求められる英語力を有する教員の割合

【中学校】

- ア 現状（英検準1級以上） 35.6%
- イ 目標 H28：45%、H29：50%
- ウ 手立て 各試験団体が提供する特別受験制度の周知
域内研修受講者に対する教師の英語力を測るテストの受験推進

【高等学校】

- ア 現状（英検準1級以上） 75.9%
- イ 目標 H28：78%、H29：80%
- ウ 手立て 各試験団体が提供する特別受験制度の周知
域内研修受講者に対する教師の英語力を測るテストの受験の実施

② 求められる英語力を有する生徒の割合

【中学校】

- ア 現状（英検3級以上） 31.8%
- イ 目標 H28：45%、H29：50%
- ウ 手立て 生徒の英語に対する興味・関心を高める授業を行い、資格取得への意欲を高め、英検の受験者を増やす。また、成果を上げている学校や地域の取り組みを研修等で紹介し、県全体として英語力の向上へとつなげていく。

【高等学校】

ア 現状（英検準2級以上）39.6%

イ 目標 H28：45%、H29：50%

ウ 手立て 第3回域内研修において、研修参加者がそれぞれの学校で1～2回で学んだ研修内容を生かした授業実践報告を行い、特にリスニング、ライティングセクションの対策のため、授業改善に係る研修を充実させる。

③ 「CAN-DOリスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況（（1）設定、（2）公表及び（3）達成状況の把握等の状況）

【中学校】

ア 現状（1）24.8%（2）0.8%（3）11.0%

イ 目標 H28：（1）100%（2）40%（3）80%

H29：（1）100%（2）100%（3）100%

ウ 手立て H28年度末に、CAN-DOリストの整備・活用・公表に係る文書を発出し、作成方法や整備スケジュールを示した。H29年度の研修協力校研修（CAN-DOリスト研修会）に全ての中学校から1名以上参加し、その際、各学校で作成したCAN-DOリストと活用・公表に係る報告書の提出を求める。

【高等学校】

ア 現状（1）100%（2）25.0%（3）46.3%

イ 目標 H28：（1）100%（2）60%（3）75%

H29：（1）100%（2）100%（3）90%

ウ 手立て H28年度末に、CAN-DOリストの修正の依頼、そして活用・公表に係る現状と予定を確認する文書を各校に発出し、4月中旬まで提出するように依頼した。集約後、研修協力校研修（CAN-DOリスト研修会）、そして県立学校教育課程研究協議会において結果を報告し、公表と達成状況の把握について意識を喚起する。

④ 授業における、生徒の英語による言語活動時間の占める割合

【中学校】

ア 現状 75.3%

イ 目標 H28：80%、H29：100%

ウ 手立て 域内研修やCAN-DOリスト研修会で、英語教育実施状況調査の結果について報告し、各学校の状況と比較させることで、各学校の指導上の課題を明らかにする。また、各研修会での、演習・協議を通して、生徒の英語での言語活動を充実させるための指導に対する参加者の理解を深める。

【高等学校】

ア 現状 39.6%

イ 目標 H28：65%、H29：70%

ウ 手立て 域内研修やCAN-DOリスト研修会で、英語教育実施状況調査の結果について公表し、各学校の状況と比較させることで、各学校の指導上の課題を明らかにし、授業改善につなげる。また、CAN-DOリスト研修会において各校で作成した定期テストの問題、もしくはパフォーマンステストの問題を持参してもらい、参加者で検証する。

⑤ 「話すこと」及び「書くこと」における外国語（英語）表現の能力を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

【中学校】 【高等学校】

ア 目標 指導と評価の一体化を目指したパフォーマンステストの導入推進

イ 手立て CAN-DOリスト研修会において、パフォーマンステストの在り方について、

大学教授等と連携して講義・演習を行い、CAN-DOリストと関連したパフォーマンステストの在り方について理解を深める。

⑥ 授業における、英語担当教員の英語使用状況

【中学校】

ア 現状 65.4%

イ 目標 H28:80%、H29:100%

ウ 手立て 域内研修やCAN-DOリスト研修会で、英語教育実施状況調査の結果について報告し、各学校の状況と比較させることで、各学校の指導上の課題を明らかにする。また、CAN-DOリスト研修会の研究授業をもとに、英語を用いた指導の在り方についての演習・協議を行うことで、英語使用状況のさらなる促進につなげる。

【高等学校】

ア 現状 55.1%

イ 目標 H28:90%、H29:100%

ウ 手立て 域内研修やCAN-DOリスト研修会で、英語教育実施状況調査の結果について報告し、各学校の状況と比較させること、また、第3回域内研修において英語を用いた授業実践をまとめた報告書を提出させ、研修参加者で共有することで使用状況のさらなる促進につなげる。

⑦ 相応の英語力を有する教員の全教員に占める割合

【小学校】

ア 現状 —

イ 目標 H28:—、H29:—

ウ 手立て 各試験団体が提供する特別受験制度の周知
域内研修受講者に対する教師の英語力を測るテストの受験推進

⑧ 研修実施回数、研修受講者の人数

【小学校】

ア 研修実施回数・研修受講者数 4回・321名

イ 目標 H28:4回・288名、H29:4回・330名

ウ 手立て 事業計画に基づき各種研修を計画的に実施するとともに、英語教育推進リーダーの積極的な活用により市町村教育委員会での研修を充実させる。

【中学校】

ア 研修実施回数・研修受講者数 3回・105名

イ 目標 H28:4回・105名、H29:4回・105名

ウ 手立て 事業計画に基づき各種研修を計画的に実施するとともに、英語教育推進リーダーの積極的な活用により市町村教育委員会での研修を充実させる。

【高等学校】

ア 研修実施回数・研修受講者数 6回・174名

イ 目標 H28:6回・155名、H29:6回・175名

ウ 手立て 事業計画に基づき各種研修を計画的に実施するとともに、域内研修参加者の積極的な活用により各学校での研修を充実させる。

(3) 研修の体系と内容の具体

- 外部専門機関：宮崎大学教育学部、宮崎国際大学国際教養学部、南九州短期大学国際教養学

科との連携を通じた研修の充実

(1) 研修協力校（県立宮崎工業高等学校・宮崎市立赤江中学校、県立高鍋高等学校・新富町立新田中学校・新富町立新田小学校）研修

対象者：県立学校及び中学校教諭等

目的・内容：小学校、中学校、高等学校の授業公開、研究協議及び学習到達目標（CAN-DOリスト）の整備と活用のための研修会

受講予定者数：県立学校55名、中学校32名

教師の英語力を測るテストの実施：無

評価方法：参加者へのアンケートの実施及び関係成果指標の目標値達成状況による有効性の検証

外部専門機関との関わり：

研修会における宮崎大学及び南九州短期大学の准教授等による指導助言を頂く。研修後、中学校においては作成したCAN-DOリストについて継続的な指導助言を個別に行ってもらおう。高校においては、研修会時に持参する定期テスト、もしくはパフォーマンステストとCAN-DOリストとの関連について、継続的に指導助言を個別に行って頂く。

実施内容：授業公開、研究協議、研修テーマ(例)「CAN-DOリストの具体的活用」

(2) 小学校教員向け指導力向上研修

1) 外国語活動リーダー研修Ⅰ・Ⅱ

対象者：教育事務所から推薦された指導力の高い教員

目的・内容：外国語活動指導者研修の講師を養成

受講予定者数：20名・20名

外部専門機関との関わり：宮崎大学の准教授等による講義

2) 外国語活動指導者研修

対象者：外国語活動の指導経験の少ない小学校教員

目的・内容：外国語活動指導者の指導力向上

受講予定者数：232名

教師の英語力を測るテストの実施：無

評価方法：参加者へのアンケートの実施及び関係成果指標の目標値達成状況による有効性の検証

外部専門機関との関わり：宮崎大学・宮崎国際大学の准教授等によるワークショップ及び指導助言

(3) 外国語指導助手の指導力等向上研修

対象者：JETプログラムにより招致している全ALT

目的・内容：外国語指導助手の指導力等向上

基調講演、講義、ティームティーチング等に関する実践発表及び協議（分科会形式）

受講予定者数：65名

評価方法：参加者へのアンケートの実施

外部専門機関との関わり：外部専門機関の講師（予定）による基調講演

(4) 中央研修受講者による域内研修の実施

中核教員数：小学校50名、中学校75名、県立学校60名

内容：2時間7セットの計3日間程度の研修

・中核教員に対して教師の英語力を測るテスト受検を義務づける。（小中高対象）

- ・各種タスクやアクティビティなどの指導方法の理論的背景の理解を促進する。
(中高対象)
- ・研修内容を生かした授業実践報告会を含む。(高校対象)

(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月		
5月		
6月	外国語活動リーダー研修会Ⅰ	宮崎大学 宮崎国際大学
7月	外国語活動リーダー研修会Ⅱ 域内研修：小①②③ 域内研修：高①	
8月	外国語活動指導者研修会 域内研修：中①②③	宮崎国際大学 宮崎大学
9月		
10月	研修協力校研修①(小・中・高等学校) 域内研修：高②	宮崎大学 南九州短期大学
11月	研修協力校研修②(中・高等学校)	宮崎大学 南九州短期大学
12月	域内研修：高③	
1月		
2月	外国語指導助手の指導力等向上研修	外部専門機関(予定)
3月		
【その他の取組】 宮崎県高等学校教育研究会英語部会主催「第3回宮崎県高等学校英語プレゼンテーションコンテスト」への支援		

